

2026年8月31日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

約1,000人が参加する大規模避難訓練、親子向け防火防災体験も実施 「すみふ防災フェア2026」 9月7日（月）新宿住友ビル オフィスから地域・家庭へ、楽しみながら“もしも”に備える一日に

住友不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：仁島浩順）は、9月7日（月）13時より、新宿住友ビル（東京都新宿区）の公開空地「三角広場」にて「すみふ防災フェア2026」を開催いたします。

本イベントは、新宿住友ビルに入居する約80テナントから約1,000名が参加する大規模な避難訓練に併せて、親子で楽しく学べる防災体験の機会を設けることで、オフィスワーカーだけでなく、周辺地域の皆様や子どもと保護者に対しても防災意識の向上と災害への備えの重要性を啓発することを目的としています。

本ビルのテナント従業員を対象にした避難訓練では、地震発生後の火災を想定し、各フロアから非常階段を利用して1階（三角広場）まで避難するなど、実際の災害を想定した実践的な訓練を実施します。

また、防災フェアでは、新宿消防署のご協力のもと、親子で体験しながら防災を学べるコンテンツも展開します。「まちかど防災訓練車」での消火訓練をはじめ、「煙体験ハウス」や「VR防災体験車※」による防災体験、災害時の「食」を身近に考えるローリングストック食品の試食会など、幅広い世代が参加できるプログラムをご用意します。さらに、東京消防庁のご協力のもと、東京消防庁音楽隊、カラーガーズ隊による防災コンサートも実施し、防火防災の大切さを発信します。フィナーレでは、教育系YouTubeチャンネル「ボンボンアカデミー」とのコラボレーションを実施し、親子で楽しみながら防災について学ぶ機会も提供します。

本イベントを通じて、オフィスワーカーをはじめ、地域の皆様や親子連れなど幅広い方々に、防災を自分ごととして考え、いざという時に行動できる力を身につけていただく機会を創出いたします。当社は、今後も地域や関係機関との連携を強化し、安全・安心なまちづくりと災害に強いコミュニティの形成に取り組んでまいります。



AED訓練のイメージ（当社グループ他施設での開催）



テナントの避難訓練のイメージ（当社他施設での開催）

※未就学児の体験は不可

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 メール:koho@sumitomo-rd.co.jp

■「すみふ防災フェア2026」概要

開催日時	2026年9月7日(月) 13:00～16:00	当日のスケジュール
会場	新宿住友ビル 三角広場 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 最寄り駅: 「都庁前駅」A6出口直結(大江戸線) 「西新宿駅」2番出口徒歩4分(丸ノ内線) 「新宿駅」西口徒歩8分(JR・小田急線・京王線) 「新宿駅」7番出口徒歩8分(新宿線)	13:00 ～ 16:00 防災体験 14:00 ～ 15:00 テナント避難訓練 ビルテナント従業員向けに開催 15:00 ～ 15:30 防災コンサート ・東京消防庁音楽隊 ・東京消防庁カラーガーズ隊 ・いっちー＆なる (ボンボンアカデミー) ※VR車は13:00～15:00(先着予約制) ※各種防災体験は13:00～15:00、15:30～16:00 防災コンサート中は受付停止 ※試食会、良品計画ワークショップ常時開催
出演者	東京消防庁音楽隊 東京消防庁カラーガーズ隊 いっちー＆なる(ボンボンアカデミー)	
入場料	無料	

■テナント避難訓練(法定訓練)実施概要

本訓練は、震災発生後に新宿住友ビル8階で火災が発生した想定のもと、初期消火・通報・避難までを含む総合自衛消防訓練を実施します。

約80テナントから約1,000名の参加を想定し、出火階および直上階から上階順に段階避難を行い、各フロアから非常階段を利用して1階にある三角広場まで避難します。



避難訓練のイメージ(当社他施設での開催)

■各種コンテンツの紹介

1. 体験コーナー

当日は、子どもから大人まで楽しみながら防災について学べる多彩な体験コーナーを開催します。会場では、煙が充満した空間で避難時の行動を体験できる「煙体験ハウス」、「まちかど防災訓練車」による消火訓練、バーチャルリアリティ(VR)技術を活用し、災害現場さながらの臨場感を体験できる「VR防災体験車」を実施します。また、「電動トライク」の乗車体験のほか、災害や急病人が発生した際に役立つ応急救護訓練や119番通報訓練など、実践的なプログラムも用意しています。さまざまな体験を通じて、防火防災への理解を深めるとともに、災害時に必要となる知識や技能を身に付けていただけます。



まちかど防災訓練車



電動トライク



煙体験ハウス

2. ローリングストック試食会

日本食研ホールディングス株式会社および株式会社良品計画のご協力のもと、災害時の備えとして注目される「ローリングストック」を体験できる試食会を実施します。当日は、当社グループで飲食事業を担う泉レストラン株式会社のシェフが考案・調理した備蓄食活用の特別メニューを提供し、日頃から備蓄している食品をおいしく活用する方法を紹介します。楽しみながら防災への理解を深めていただける機会を提供します。



当日提供予定のローリングストックを活用した料理
※実際に提供する量とは異なります

ローリングストックとは

ローリングストックとは、普段から少し多めに食品や飲料を備蓄し、消費した分を新たに補充することで、常に一定量の備蓄を維持する方法です。特別な非常食だけでなく、普段から食べ慣れている食品を備えることで、災害時でも安心して食事をとることができます。

3. 株式会社良品計画による出店ワークショップ

株式会社良品計画では、「防災＝特別」ではなく、いつもの延長線にくらしの備えがある「いつものもしも」という考え方を提案しています。今回のワークショップでは、この考え方をもとに、ローリングストックをご紹介します。普段から食べ慣れた味を備えておくことで、災害時の不安やストレスの軽減につながると言われています。その他、災害時の避難生活を支えるダンボールベッドや空気のできたマットレスなど、防災に役立つアイテムを展示します。実際に見て触れて体験いただけます。

4. 東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊 / ボンボンアカデミーによるコンサート

15時より消防音楽隊による約30分間の防災コンサートを開催します。ステージでは、親しみやすい楽曲の演奏に加え、カラーガーズ隊による華やかなフラッグ演技も披露し、来場者の皆さまに楽しみながら防災意識を高めていただける内容となっています。また、コンサートのフィナーレでは、講談社の教育系YouTubeチャンネル「ボンボンアカデミー」で活躍する歌のお姉さん「いっちー＆なる」をスペシャルゲストとして迎え、防火をテーマとしたオリジナルソングを初披露するとともに、消防音楽隊との特別コラボレーションを実施します。子どもから大人まで楽しめるステージを通じて、防火防災の大切さを広く発信します。



東京消防庁音楽隊



東京消防庁カラーガーズ隊



ボンボンアカデミー
左:なる 右:いっちー

「地域と奏でる防災のハーモニー」をテーマに都内各地で防災コンサート等を実施。安全・安心に暮らせる街づくりの実現に向け、地域に根差した消防のPRを行っています。

音楽隊とともにパレードや広報イベントなどに参加し、華やかなフラッグ演技で防火防災を呼びかけています。子どもから大人まで幅広い世代に、防災の大切さを発信しています。

登録者数120万人以上、総再生回数27億回を超え、全国の子どもや保護者から高い支持を集めています。歌や遊びを通じて楽しく学べるコンテンツを発信しています。

東京消防庁HP <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/ts/ongtai/intro.html>

ボンボンアカデミー: <https://bom-bom-academy.com/>

グループ一体で防災対応力を一層強化し、災害に強い街づくりに貢献

オフィスビルやマンションなど、人々の生活基盤となる社会資産を供給する企業として、当社グループでは建築物の強靱化や運営面での防災性向上を推進するとともに、災害その他の緊急事態に備え、グループ一体となって事業継続体制の強化に取り組んでいます。

近年は、地震や豪雨をはじめとする自然災害の激甚化・頻発化に加え、複数のリスクが同時に発生する複合災害への備えの重要性も高まっており、当社グループでは、利用者の安全・安心の確保のため、ハード・ソフト両面から防災対応力の強化を進めています。

■オフィスの防災

① 新宿住友ビル／新宿区や周辺施設と連携し、帰宅困難者一時滞在施設運営訓練を実施

2025年12月、新宿住友ビル三角広場において、新宿区および新宿駅周辺防災対策協議会と連携し、帰宅困難者の一時滞在施設設営・運営・受入訓練を行いました。周辺施設やビルテナントなど約100名が参加し、オフィスワーカー、来街者・観光客・周辺住民など多様な帰宅困難者への対応を検証。また、東京都のデジタルシステム「キタコンDX」を新宿区で初運用し、受付の効率化を確認しました。



様々な帰宅困難者を想定した受付



車椅子も想定



テナント従業員も参加

「キタコンDX」画面例

＜新宿住友ビル 三角広場＞



ビル外観



三角広場

住所：東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

竣工：1974年竣工 ※2020年全面改修

階数：地上52階、地下4階

構造：制振構造

三角広場：全天候型屋内空間

約3,250㎡、高さ25m（有効高さ22m）

地震などの有事が起こった際には帰宅困難者の一時滞在施設として2,850名の受入が可能。平時はイベントなど賑わい創出空間として稼働。

② 住友不動産東京三田ガーデンタワー／複合用途ビルでのテナント参加の訓練を実施

2023年8月に港区と連携し、街区就業者や地域住民ら計1,125名が参加する官民連携の防災訓練を実施しました。帰宅困難者受入訓練や消防訓練、応急救護講習等を通じて、地域の防災意識向上と災害時に機能する受入体制の強化に取り組みました。



上：簡易トイレの設置方法を学ぶ様子

左：テナント従業員参加の訓練の様子

■ イベントホールの防火防災訓練

東京ガーデンシアター／地元園児も参加、避難訓練コンサート(無料)を開催

2026年2月、東京消防庁・深川消防署と連携し、周辺園児からシニア世代まで幅広い世代の約1,500名が参加する「避難訓練コンサート」を開催しました。年間約240公演を開催する東京ガーデン



的確な避難行動ができるよう、大声で誘導する施設スタッフ



上: ステージから煙発生
下: 集団避難する園児たち

シアター(東京都江東区)を舞台に、コンサート中の火災発生を想定した避難訓練やAED体験など、来場者が非日常の環境下で実践的な避難行動を体験することで、防災を“自分ごと”として捉える機会を創出し、防災意識の向上に繋がりました。

■ ホテルの防火防災訓練

inumo芝公園 by Villa Fontaine／飼い主と愛犬と一緒に避難、ペット同伴の避難訓練

2024年2月、港区・芝消防署と連携し、愛犬同伴型ホテルならではの実践的な防火防災訓練を実施しました。ホテル会員20名(愛犬13頭)が参加し、地震による火災を想定した避難誘導や初期消火訓練等を通じて、ペットとの安全な避難行動の啓発と災害対応力の向上に取り組みました。



レストラン客を避難誘導するスタッフ



客室のお客様と愛犬を避難誘導



EV使用せず、愛犬と共に非常階段から避難

■ 商業施設(空港直結)の訓練

羽田エアポートガーデン／施設特化の訓練、NBCテロ退去合同訓練

2022年11月、羽田空港直結の商業施設「羽田エアポートガーデン」において、警視庁東京空港警察署と連携し、国際テロ防止に向けた「NBCテロ対処合同訓練」を実施。化学物質テロを想定し、関係機関との連携や役割を確認することで、大規模複合施設の危機管理体制の強化を図りました。



旅行者や買物客で賑わう商業エリア



空港警察署員が不審者を制圧



NBCテロ捜査隊による除染作業の様子

■約14,000人の住友不動産グループ全社員への防災教育・訓練(一例)

①全国のいずれかの拠点で毎週防災活動を実施。幅広い事業展開を活かし、防災対応力を強化

当グループでは、全国各地で防火防災訓練や研修、実証実験、設備の点検・確認を継続的に実施しています。グループ全体では、全国のいずれかの拠点で毎週、防災に関する取り組みを実施しており、大規模地震や風水害などの自然災害を想定した訓練や検証を通じて、災害発生時の対応力向上と事業継続体制の強化を図っています。平時から備えを積み重ねることで、防災力の向上と事業継続体制の強化に取り組み、安全・安心な社会の実現に貢献しています。

<活動例>



A: 防災備品を展示し、いつでも使用できるように防災意識を喚起 B: 防災備蓄品の管理・入れ替え C: 賞味期限が近い備蓄食の活用を提案(当社グループレストランシェフがレシピ考案) D: 消費期限の近い備蓄食配布を兼ねた社員参加型訓練の実施など

②大地震を想定、社員の徒歩参集訓練(定期訓練)

首都直下地震やその他大地震を想定したグループ横断の防火防災訓練を定期的の実施しています。災害対策本部の運営訓練や徒歩参集訓練、被害状況・安否情報の集約訓練などを通じて、発災時の初動対応や拠点間連携を検証し、当社グループ全体の防災体制強化と対応力向上を図っています。

<活動例> 2025年11月実施訓練の様子(首都直下地震を想定)



A: 新宿にある本社に災害対策本部設置をする訓練。休日の朝8時に災害が発生したとの想定で、社員が実際に徒歩で参集する訓練を実施 B: デジタルツールを用いて安否確認の情報共有 C: 誰が駆け付けられるか分からないので、初めての社員でも対応できるよう、マニュアルを見ながら作業 D: 自宅から徒歩で駆け付ける訓練のため、ヘルメットや非常用持ち出し袋(駆付要員の自宅には予め送付済)を背負い、本部設置に向かう社員の様子